

各高等学校長様

栃木県柔道連盟会長 鈴木 賢一
栃木県高体連柔道専門部長 角田 正史

令和7（2025）年度第48回全国高等学校柔道選手権大会栃木県大会の開催について

標記大会を下記のとおり開催いたします。

つきましては、貴校関係生徒・職員等の参加について特段の御配慮をお願いいたします。

記

- 1 主 催 栃木県柔道連盟（公財）全国高等学校体育連盟柔道専門部
- 2 共 催 栃木県高等学校体育連盟
- 3 主 管 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部
- 4 期 日 令和8年1月24日（土）開場8：00 男女個人試合 審判監督会議10：00予定
令和8年1月25日（日）開場8：00 男女団体試合 審判監督会議 9：30予定
- 5 会 場 ユウケイ武道館（栃木県総合運動公園内武道館 宇都宮市西川田4-1-1 Tel028-684-2200）
- 6 競技方法
 - (1) 審判は国際柔道試合審判規定（最新版）並びに、全国高等学校体育連盟柔道専門部及び栃木県高等学校体育連盟柔道専門部申し合わせ事項による。
 - (2) 団体試合及び個人試合男女ともにトーナメント方式とする。
 - (3) 試合時間について
全て3分とする。延長戦（ゴールデンスコア：以下GS）は時間制限を設けない。
 - (4) 優勢勝ちの判定基準について
 - ①団体試合は、「有効」または「僅差」以上とする。「技の内容」と「指導」の重みは【一本=反則勝ち>技あり>有効>僅差】とする。「僅差」は指導差2とする。
 - ②個人試合は、「有効」または「僅差」以上とする。技による得点が同等の場合は延長戦（GS）を行い、「有効」以上または指導差が出た時点で勝敗を決める。「僅差」は指導差2とする。
 - ③団体試合の代表戦及び個人試合において、反則累積による「両者反則負け」になった場合はスコアをリセットし、延長戦（GS）において勝敗を決する。延長戦（GS）で反則累積による「両者反則負け」になった場合はスコアをリセットして再度延長戦（GS）を行い、必ず勝敗を決する。
 - (5) 団体試合における勝敗の決定について
 - ①勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ②①で同等の場合は、「一本=反則勝ち」の多いチームを勝ちとする。
 - ③②で同等の場合は、「技あり」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
 - ④③で同等の場合は、「有効」による勝ちの多いチームが勝ちとする。
 - ⑤④で同等の場合は代表戦を行う。
男子は代表選手を任意に選出して行う。代表戦で得点差が無い場合は、延長戦（GS）により勝敗を決する。延長戦（GS）における優勢勝ちの判定基準は「有効」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。女子は「引き分け」対戦の中から抽選で選び、延長戦（GS）で実施する。なお、「引き分け」対戦がない場合は、両者「反則負け」などで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、選手が2名しかおらず、「引き分け」対戦がない場合は、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、延長戦（GS）で行う。延長戦（GS）における優勢勝ちの判定基準は男子と同様とする。
 - (6) 全ての試合で3位決定戦を行う。男子団体試合は5～8位決定戦を行う。決定方法は、準々決勝戦同ブロック敗者同士の試合を行い、次に勝ちチームで5・6位決定戦、負けチーム同士で7・8位決定戦を行う。
 - (7) 個人試合について
 - ①男女体重別4階級及び無差別とする。
 - ②男女ともに全階級において3位決定戦を行う。ただし、60kg級のみ決勝戦敗退者と3位決定戦勝者が準決勝で直接対戦をしていない場合は、最終決定戦を行う。
 - (8) 男女団体試合優勝校及び男女個人試合優勝者及び60kg級準優勝者は日本武道館で開催される「令和7年度第48回全国高等学校柔道選手権大会」（令和8年3月27日（金）・28日（土））の出場権を得る。

7 参加資格

 - (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校および中等教育学校・高等専門学校に在籍する生徒。
 - 及び制限 (2) 栃木県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒および中等教育学校・高等専門学校に在籍し、（公財）全日本柔道連盟に令和7（2025）年度登録している者。
 - (3) 平成19年4月2日以降に生まれたもの。令和7年度に当該校第2学年以下の生徒。但し、定時制・

通信制の生徒は第3学年以下とする。同一学年での出場は1回限りとする。

- (4) 選手は団体・個人試合の出場を兼ねてよい。
- (5) 転校後、6ヶ月未満の者は、参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (6) 外国人留学生は卒業を目的として入学していること（短期留学は認めない）。
- (7) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該学校長の承認を得る。
- (8) 団体試合について※シードについては「令和7(2025)年度各種大会シード権について」に準ずる。

【男 子】

- ①1校1チームの参加とし、全・定・通の混成は認めない。
- ②チームの人員については、監督1名、選手5名、補欠1名の計7名とする。ただし、選手は3名から5名でもよいが、3名から4名の場合は、後ろ詰め（先鋒・次鋒、もしくは先鋒を空ける）とする。
なお、オーダーは試合毎に決定できる。

【女 子】

- ①1校1チームの参加とし、全・定・通の混成は認めない。
- ②チームの人員については、監督1名、選手3名、補欠2名の計6名とする。ただし、選手は2名でもよいが、対戦チームがともに2名の場合は、後ろ詰め（先鋒を空ける）とする。
- ③体重区分は次のとおりとする。
先鋒:52kg以下、中堅:63kg以下、大将:無差別。（体重の軽い者は重い階級に出場できる。）なお、補欠は該当する階級に出場できる。
- ④計量に合格できない者は出場できない。（女子団体試合出場選手は無差別も含め全員計量を行なう）
- ⑤試合当日、両チームとも2名での対戦となった場合は、配列をそのままの順序で後ろに詰める（先鋒をあける）。なお、2名同士の対戦後、勝ち上がった場合、次の試合の配列はエントリー通りの配列とする。

【共 通】

- ①参加申込後の選手の変更は、大会当日の審判監督会議までに校長の証明書を添えて申し出た者のみ認め、男女ともに2名を上限とする。ただし、感染症やその他天災による場合は、適用しない。
- ②エントリー数以下で試合をした場合は、以降の試合もその人数以下で試合を行う。
- ③合同チームでの参加を推奨する。勝ち上がりは無しとする。ただし、合同チーム同士の対戦の場合はその限りではない。
- (9) 個人試合について※シードについては「令和7(2025)年度各種大会シード権について」に準ずる。
- ①男子個人試合（4階級+無差別）体重区分は次のとおりとする。
 - 60kg級→60kg以下の者
 - 73kg級→66kgを超え73kg以下の者
 - 無差別→体重の制限は設けない
 - 66kg級→60kgを超え66kg以下の者
 - 81kg級→73kgを超え81kg以下の者
- ※各階級エントリーは1校4名までとする。別枠は設けない。
- ②女子個人試合（4階級+無差別）体重区分は次のとおりとする。
 - 48kg級→48kg以下の者
 - 57kg級→52kgを超え57kg以下の者
 - 無差別→体重の制限は設けない
 - 52kg級→48kgを超え52kg以下の者
 - 63kg級→57kgを超え63kg以下の者
- ※団体試合先鋒エントリー選手⇒48、52kg級、無差別
- ※〃 中堅〃 ⇒全階級、無差別
- ※各階級エントリー数に制限は設けない。
- ③選手の変更は組合せ抽選の前日までに委員長に申し出る。様式は団体試合に準ずる。
- ④外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

8 引率責任者は、校長が認める当該校の職員とし、選手のすべての行動に責任を負うものとする。また、校長から引率を委託された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第七十八条の二に示された者）も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委託する場合は栃木県高等学校体育連盟に事前に届け出る。

9 計量 (1) 予備計量：1月24日（土）8:30～9:00
本計量：〃 9:00～9:50（変更がある場合は放送で周知する）
(2) 回数：2回まで認める。2回目でクリアしない場合は失格とする。
(3) 計量時の服装については、原則として男子は短パン（またはスパッツ）のみ、女子は上がTシャツで下が短パン（またはスパッツ）とする。
(4) 女子団体試合のみに出場するチームについては、団体試合当日の計量を認める。ただし、女子個人試合に1名でも申し込みを行ったチームは認めない。なお、申込の際に委員長に申し出ること。

10 参加申込 (1) 申込み方法及び申込先

- ①栃高体連柔道専門部ホームページより申し込みファイル(EXCEL形式)をダウンロードし、データを入力し、プリンターで印刷したものを送付する若しくはPDFをメールで送信すること。校長及び顧問印の無い物は受付をしない。

〒321-0973 栃木県宇都宮市岩曽町 606

栃木県立宇都宮北高等学校 市川敦敏 宛て郵送若しくはメール※FAX及び便送不可
ichikawa-a01@tochigi-edu.ed.jp

②データを入力した申込みファイル(EXCEL 形式)を電子メールに添付して送信すること。

hirano-s01@tochigi-edu.ed.jp 栃木県立烏山高等学校 平野聖 宛て

(2) 申込締切日 令和8年1月15日(木)必着

※(1) ①、②ともに行うこと。

※以後の申込は一切受付しないので、余裕を持って申込むこと。

(3) 不参加は委員長((1)(1)にメールで伝えること。)

11 参 加 料 (1) 団体試合 ①男女各 5,000 円 ②合同チーム 5,000 円 ÷ 構成人数
(2) 個人試合 1名 1,000 円

12 組 合 せ 専門委員会の責任抽選によって決定する。抽選結果は1月21日(水)以降に栃高体連柔道専門部ホームページで発表する。

13 安全管理 (1) 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については「栃木県高等学校体育連盟危機管理マニュアル」に則り、適切に対応する。

(2) 当大会の会場において事故が発生した場合は、あらかじめ主催者が手配した医療関係者(柔道整復師)が応急処置を行い、医療施設への救急搬送の必要性を判断するが、これらの処置及び判断等については故意または重大な過失が無い限り、主催者及び医療関係者(柔道整復師)は責任を負わない。

14 そ の 他 (1) 専門部委員会は1月20日(火)13:30~ユウケイ武道館会議室1で開催する。

(2) 脳震盪対応について、選手および指導者、顧問は下記事項を遵守すること。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得ること。

④当該選手の顧問は、大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に書面により事故報告書を提出すること。

(3) 指導者は、皮膚真菌症(トンズラーン感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行う。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

(4) 指導者は、柔道の安全指導第6版(全柔連)、初心者の事故防止の徹底事項「6ヶ月程度の十分な練習期間を設け、受け身や基本動作に成熟し、試合等も攻防に対応できる体力が備わるまでは大会等の対外試合に参加させない」を順守すること。また、6ヶ月程度が経過していても、選手及び保護者とよく相談の上、参加不参加の判断をすること。

(5) 選手は、全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(IJF赤ラベル・赤認証ラベル)と帯(IJF赤又は青ラベル・赤又は黒認証ラベル)を着用すること。女子の黒帯は白線入りを不可とする。氏名・所属校名が入ったゼッケンを縫い付けた柔道衣を使用すること。また指導者は、以上を事前に確認すること。

(6) 団体試合出場校の監督は、試合当日の受付(試合場正面:審判監督会議前まで)で初戦のオーダー表を提出すること。男子は以降、毎試合オーダー表を受付に提出するが、変更が無い場合は試合毎に本部に申し出ること。オーダー表は栃高体連柔道専門部ホームページからダウンロードすること。

(7) 大会参加には、本人および保護者の同意を得ること。

(8) 8:00開場後、直ちに試合会場の準備を行う。

(9) 肖像権の取り扱いについては「栃木県高等学校体育連盟主催大会における個人情報及び肖像権に関する取り扱いについて」に準ずる。

(10) 感染症等の流行状況により、大会内容等が変更となる可能性がある。変更等は栃高体連柔道専門部ホームページ等を活用して周知する。

(11) 選手は、ケガ等に備えて保険証を持参すること。

(12) 顧問は、要項の内容は選手及び保護者に周知すること。

(13) 栃高体連柔道専門部ホームページアドレス及びQRコード

[\[http://tochigikoutairenjudo.info/index.html\]](http://tochigikoutairenjudo.info/index.html)

※各種大会に関する情報等を掲載するので確認すること。



栃高体連柔道専門部
委員長 市川敦敏
栃木県宇都宮北高等学校
Tel 028-663-1311